

18	漬けものの神様	佐竹 三郎
19	西洋豆本	今井田 勲
20	CALENDAR' 71	岡田 孝一
21	毛信	殿岡 辰雄
22	喋々囁々四畳半	柱 善三
23	山車からくり	犬飼 勇
24	かんしょノート	牧野 不二夫
25	CALENDAR 1972	岡田 孝一
26	川の家	黒部 節子
27	酒井潔覚え書	古田 昴生
28	伝奇名古屋城 大隧道	松尾 禎三
29	荒川ふく小傳	寺田 栄一
30	昭和四十八年うしの暦	岡田 孝一
31	ああサーカス	井口 正夫
32	不木・乱歩・私	岡戸 武平
33	アンナブルナ紀行	伊藤 洋平
34	山頭火名古屋地図	木下 信三
35	虎ごよみ1974	
35	蓬萊揚貴妃	岡田 孝一
36	今昔名古屋旭廓	真鶴亭
37	濃南華抄	斎藤 光次郎
38	珈琲落穂集	殿岡 辰雄
39	御曆1975	寺下 辰夫
41	春韻秋律	門田 ゆたか
42	獺氏サハラを行く	真島 達三
43	豊竹呂昇 写真帖	松尾 禎三

4

☆☆緑の笛豆本

大判の版画集『緑の笛』を20冊刊行した後、1965年8月より豆本となりました。弘前の蘭(らん)繁之氏が版元です。現在でも刊行中であり、内容的には多岐にわたりますが、石川啄木や太宰治など文学に関する書物が多いのが特徴です。

巻	タイトル	著・編
41	四行詩集 現身	一戸 健三
268	懶惰先生行状記	橋本秀男
285	尾張 野の詩人	橋本秀男
	佐藤 一英	

☆☆珈琲豆本

すべてコーヒーに関する内容の豆本。神保町でいなか書房を営む星田宏治さんが発行した豆本。全13冊。装丁がしっかりしており、革製や布製の表紙が手になじむ。見返し紙もさまざままで比べて眺めるのも楽しい。8巻～12巻の表紙には外国の切手が使われている。

巻	タイトル	著・編
1	珈琲談義	寺下 辰夫
2	黎明期における日本珈琲店史	珈琲文化研究会
3	日本最初の珈琲店	珈琲文化研究会
4	茶房きゃんどの50年	武富 達也
5	苦味礼讃	櫻 交紀
6	珈琲閑話	伊藤 博

13

☆はじめに

☆☆豆本とは

豆本とは、文字どおり小型の本のことで、西洋では16世紀に生まれたとされ、聖書や物語の豆本が多く作成されました。日本でも、江戸時代に娯楽用として作成され始めたといわれています。

1953年(昭和28年)札幌で「ゑぞまめほん」が刊行され、全国的な豆本ブームの火付け役となりました。愛知県でも、名古屋タイムス社長であり、詩人、画家として知られていた亀山巖氏が「名古屋豆本」を発行しています。

碧南市民図書館では、この「名古屋豆本」をはじめめとして、いくつかの豆本をコレクションしています。貸出できない資料もありますが、館内でご覧いただけますので、職員にお気軽に声をおかけください。

2

21	道は六百八十里	雨田 光平
----	---------	-------

☆☆信濃豆本の会

タイトル	著者
北信濃の戯れ唄	清水 庸三
雪の夜の幻想	いぬい とみこ

☆☆その他の豆本

書名	著者
PARROT	塩井 武
英和和英豆辞典	
夢十三夜	小村 定吉
黒い世界・亀山巖展冊子	
のえる之書	武井武雄
後続 跡に従う	鈴木道也
亀山巖を楽しむ会	
芳彩玉辞集	
Kame's NOTE	
亀山巖私誌・別冊2	亀山 巖
遊民の検証	
Kame's NOTE	
亀山巖私誌・別冊1	亀山 巖
Kame's NOTE	
亀山巖私誌・別冊3	亀山 巖
芸文逍遥 遊民おねだり帖	
736 亀山巖私誌・2	亀山 巖
1000日 亀山巖私誌・1	亀山 巖
黒い世界・亀山巖展冊子	

15

44	月の出る町	春山 行夫
----	-------	-------

73	水銀という鳴物	浦田 忠加寿
74	十一年目	伊藤 沅
75	私の唱歌碑巡り	中野 二郎
76	1982狸暦	岡田 孝一
77	【ナマ】道と郵便	田辺 卓躬
78	山頭火伊勢路行	木下 信三
79	正木流万力鎖	L. J. エイブル
80	円空仏	谷口 順三
81	1983蝶暦	岡田 孝一
82	伊勢絵馬師のアトリエ	清水 治郎
83	韓国古調 風流譚	若松 実
84	青の世界	小村 定吉
85	唱歌 落穂ひろい	中野 二郎
86	昭和甲子一九八四年達磨暦	
87	相対会の烈婦 戦う小倉ミチヨ	長谷川 卓也
88	尾張の鉄地蔵	渡辺 辰典
89	山頭火ハガキ譚	木下 信三
90	猫の目呂二 その時代	山田 賢二
91	一九八五年ゆめごよみ	岡田 孝一
92	機関車紳士録	岡田 篤也
93	ギターに憑かれて	中野 二郎
94	東京百景	小沢 信男
95	天狗恣覧考	木全 円寿
96	聖母の語史	春山 行夫
97	ピエロかれんだー	岡田 孝一
98	年のはじめに	小村 定吉

6

別8	伊藤晴雨が名古屋へきた頃	松尾 禎三
別9	四季詩畫譜	斎田 作楽
別10	祝婚歌	竹下 彦一
別11	戯作者亡命事件	林 美一
別12	桐生まで	小村 定吉
別13	絵本昔なごや	龜山 巖
別14	漫謡集	近藤 東
別15	み仏は花のごとく	小村 定吉
別16	パリの愛と死 詩的巡礼	三宅 瑞穂
別17	源氏節盛衰記	衣浦 真生
別18	銭湯行水湯殿	林 善三
別19	押収本のカタログ1947-76	長谷川 卓也
別20	漱石詩選	小村 定吉
別21	ヨーロッパの小さな博物館	糸魚川 淳二
別22	漱石最後の詩	小村 定吉
別23	山頭火空白帖	木下 信三
別24	洋帆船の絵馬	刀禰 勇太郎
別25	イナガキタルホ詩集	中野 嘉一
別26	XY女性	戸谷 良造
別27	弾き語り富士松春太夫	木下 信三
別28	名古屋豆本20年	龜山 巖 岡田 孝一・節子

8

7	珈琲・かん	珈琲館
---	-------	-----

☆☆彗ちぜん豆本

1964年に福井の佐々木了氏が発行し、第5号から青木隆氏の発行となりました。郷土色あふれる内容で、最終号まで38巻を数えました。全37冊と別冊1巻を所蔵しています。

巻	タイトル	著・編
1	越前紙鑑	則武 三雄
2	越前風流考	青木 隆
3	越前の古窯	越野 達郎
4	不死鳥の歌	熊谷 太三郎
5	野大坪万歳 全	伊東 祐忠
6	実説 越前太閤記	青園 謙三郎
7	愛郷余露志	笠松 一夫
8	逃散	坪川 健一
9	越前馬おどし	青木 隆
10	森田愛子全句集	伊藤 柏翠
11	米國博士グリフィス	杉原 丈夫
	越前日記	
12	越前童唄	伊東 スズ
13	巷談 府中奥医師騒動	神門 醉生
14	越前河童図譜	米沢 英雄
15	越前藩礼考	益永 茂三郎
16	謎靴漂流考	小林 巖
17	今昔歌妓縁台咄	仏手庵
18	撮要新聞	青木 隆
19	三好達治と越前	新盛 陽
20	いろは短句	芳賀 矢一

11

☆☆洋酒マメ天国

会社のPR誌として「洋酒天国」を出していたサントリーより、1967年から12回・3年完結の配本形式で刊行された豆本。内容はそれぞれに工夫が施され、洋酒マメ天国編集部が執筆している巻もありますが、著者やイラストレーターがそれぞれに違っているのも楽しく、その人選も豪華。写真やイラストなども多用し、ビジュアル的にもたいへん充実しています。全36巻を所蔵しています。

巻	タイトル	著・編
1	ウイスキー	洋酒マメ天国編集部
2	続ウイスキー	洋酒マメ天国編集部
3	ブランデー	洋酒マメ天国編集部
4	ビール	洋酒マメ天国編集部
5	ワイン	洋酒マメ天国編集部
6	カクテル	洋酒マメ天国編集部
7	ジン・ウオッカ	洋酒マメ天国編集部
8	続ビール	洋酒マメ天国編集部
9	ワイン・シャンパン	洋酒マメ天国編集部
10	ラム・リキュール	洋酒マメ天国編集部
11	洋酒掌辞典	洋酒マメ天国編集部
12	洋酒掌辞典	洋酒マメ天国編集部
13	わが盃の酒飲み作法	柴田 鍊三郎
14	男の服飾劇場	石津 謙介
15	男の立見席	戸板 康二

9

☆☆碧南市民図書館所蔵豆本リスト

22	武士道精華 越前剣豪伝	青園 謙三郎
23	国定公園越前海岸素描	八木 源二郎
24	落葉焚く寺	伊東 祐忠
25	水仙の里	牧田 雨煙樹
26	壮烈！南京一番乗	中山 正男
27	越前むかし絵ばなし	笠松 一夫
28	福井藩盛衰記	舟沢 茂樹
29	日本の花火	天野 太道
30	永平寺	青園 謙三郎
31	明鏡止水	雨田 光平
32	蓑笠庵梨一伝 上下	伊東 祐忠
33	汽車ぼっぼの歌	高田 義久
34	薄金の鏝	薄金 健次郎
35	越前風流一代男と 五人の女	吉田 良三郎
36	福井活動写真物語	杉本 伊佐美
37	府中犯科帖	神門 醉生
終	仏手庵追悼	豆本の会

12

45	一九七六年どころカレンダー	
46	ガラスの彼方	斎藤 吾朗
47	山頭火中央道追跡	木下 信三
48	鞭と拳銃	田辺 卓躬
49	ボンボン時計	井上 信夫
50	名古屋豆本蛇暦	岡田 孝一
51	詩的巡礼巴里五人女	三宅 瑞穂
52	手風琴の本	尾上 隆治
53	大碓紋太郎傳	橋本 健三
54	山頭火奥州人情	木下 信三
56	グレート天海聞書	石田 天海
57	艶庵句集	杉浦 冷石
58	山頭火故里残景	木下 信三
59	巴里の大駅	三宅 瑞穂
60	名古屋豆本かれんだあ	岡田 孝一
61	覗きからくり兵隊唄	稲葉 忠行
62	映画屋思い出サイン帖	林 美一
63	肇メニ草アリ	清水 正治
64	山頭火九州流転	木下 信三
65	明治村ペンキ木目塗	菊地 重郎
67	京の吹きよせ	川崎 桂子
68	山頭火四国遍路	木下 信三
69	私の岩田祐吉	山田 賢二
70	将校のラーゲリ	清水 光春
71	1981カレンダー	岡田 孝一
72	日本一の大麻羅づくり	中井 文雄

5

8	ブラジルの珈琲	伊藤 博
9	珈琲・豆知識	伊藤 博
10	大作曲家と珈琲	鞍 信一
11	珈琲哲学序説	寺田 寅彦
12	コーヒー読本	関口 一郎
13	ロンドンの コーヒー・ハウス	小林 章夫

☆☆古通豆本

古書通信社が刊行している豆本です。1970年の大阪万博を機に刊行されました。書物に関わるテーマが多く、内容的にも充実しています。展示資料は全て並製ですが、他に革装や布装といった特装版も刊行されています。現在でも刊行されている数少ないシリーズ豆本の一つです。

巻	タイトル	著・編
55	豆本 文人画像	関野 準一郎／著

☆☆マイクロブック

0.95×0.95ミリサイズの本。マイクロブック本体の他に、拡大本(本体の約20倍)とルーペ(倍率6倍)がセットになっています。

タイトル	著者
マイクロブック「十二支」	印刷博物館

14

☆☆名古屋豆本

『名古屋豆本』は、モダニズムの詩人、画家として知られ、名古屋タイムス社の社長の職にあった亀山巖(かめやまいわお、1907-1989)により、1967年から刊行が始められたものです。22年の間に全116集と別冊28巻が刊行されました。郷土史から趣味的なものまで、内容は多岐に渡ります。碧南市民図書館では、第1巻～別冊28巻、カレンダーを所蔵しています(一部欠号あり)。一部貸出できる資料もありますので、職員におたずねください。

巻	書名	著者
1	火と雪	齋藤 光次郎
2	ゆうもあ 苦笑	真鶴亭
3	球状人間	龜山 巖
4	カシワの笑ひ	佐藤 一英
6	價作 勸進帳	柱 善三
7	男と女	佐々 基子
8	いろはにほ と	後藤 敬一郎
9	芭蕉名古屋秘聞	竹田 敦
11	絵本ばらだいたず	龜山 巖
12	熱田三景	松尾 禎三
13	尾張千石船	川合 彦克
14	灯をともし 含笑長屋	近藤 洽一
15	Dog's Calendar 1970	岡田 孝一
16	まぼろしの郵便局	田辺 卓躬

3

16	おつまみ読本	辻 勲
17	わが酒菜のうた	草野 心平
18	蒐集家の散歩道	植草 甚一
19	サントリー談話室	(株)サン・アド
20	エチケットの稀本	高橋 義孝
21	洒落笑事典	江国 滋
22	色好み女歳時記	楠本 憲吉
23	宴歌ばらえ亭	永 六輔
24	乾杯 博物館	伊丹 十三
25	酒の診察室	木崎 国嘉
26	美女とり物語	秋山 庄太郎
27	架空会見記	池島 信平
28	私設名画館	古波蔵保好
29	NUDEのカクテル	澁澤 龍彦
30	巷説百人一首	池田 弥三郎
31	酒専科・女専科	(株)サン・アド
32	ポーノピア	野坂 昭如
33	悪女の画廊	種村 季弘
34	ケツ作美術館	杉浦幸雄
35	魚・鳥・虫ノオト	那須 良輔
36	八方美人プラス	和田 誠

10

99	山頭火日向路有情	木下 信三
100	神の貌	龜山 巖
101	川崎長太郎点景	山田 野理夫
102	かれんだー1987	岡田 孝一
103	渡辺さん、もしやあなたは...	龜山 巖
104	女子大版京都学入門	駒 敏郎
105	白瀬の墓	伊藤 沆
106	山頭火鶴岡極道	木下 信三
107	1988恐竜暦	岡田 孝一
107	ヒッチ排句	御沓 幸正
108	古常滑の周辺	沢田 由治
110	新輯四季詩画譜	斎田 作樂
111	元相ラジコン飛行船	岡本 大作
112	平成元年一九八九年暦	
113	大嘗祭の意味	千家 紀彦
114	本四北の地続きを歩く	長谷川 卓也
115	当用 月時計	森 たかみち
116	私の生きた時代	龜山 巖

☆☆名古屋豆本別冊

別1	青騎士前後	斎藤 光次郎
別2	田県宮新誌	真鶴亭
別3	ヴェネツィア 杉本駿彦詩集	杉本駿彦
別4	女の社母の寺	佐竹 三郎
別5	陶酔帖	衣浦 真生
別6	PARADISE OF OLD WINGS	岡本 大作

7

夢十一夜	小村 定吉
哀歌	林 静一
裸族29	谷克彦(編集)
こめんあそばせ	
谷川晃一掌中画集	谷川晃一
遠くかそけく 堀口大学詩集	堀口大学
NHKまめぼ〜ん	NHK
花神 ドラマ編	サービスセンター
NHKまめぼ〜ん	NHK
花神 歴史編	サービスセンター
田奈部豆本 第10集	吉田 弥左衛門
秘画鬼の生と死	龜山 巖
WONDA SPORTS	
大相撲・プロボクシング編	スポニチ
日本地理 全	修学堂

☆☆豆本はすべて地下の書庫にあります。ご覧になりたいかたは、職員に声をおかけください。

碧南市民図書館 本館
碧南市鶴見町1-70-1
TEL41-0894 FAX41-1225

16

☆☆目次

目次1
はじめに2
碧南市民図書館	
豆本リスト3
名古屋豆本概要3
名古屋豆本リスト3
名古屋豆本別冊7
洋酒マメ天国概要9
田奈部豆本 第10集9
えちぜん豆本概要11
えちぜん豆本リスト11
緑の笛豆本概要13
緑の笛豆本リスト13
珈琲豆本概要13
珈琲豆本リスト13
古通豆本概要14
古通豆本リスト14
マイクロブック14
信濃豆本の会15
その他の豆本リスト15

1